

# NEWS LETTER

2008年 3月 26日 No. 542

三重大学教職員組合発行

直通 : 059-231-4447 (内線 2169)

E-mail : KYF03351@nifty.ne.jp

URL : <http://homepage2.nifty.com/mie-union/>

## 2008 年度定期大会を終えて

定期大会が例年より少し遅れて、1月17日(18:10~20:10)に教育学部校舎大会議室で行われました。大会は、王副委員長(生資)の挨拶と開会宣言を持って幕が開き、それから、議長団選出、来賓挨拶・メッセージ、資格確認の順に沿って進められました。議長団に橋場(人文)、加治佐(生資)、議事録署名人に松本(教育)、和藤(工)の4代議員が選出された後、三重県国家公務関連労働組合共闘会議議長海野鐘弘氏と、全国大学高専教職員組合中央執行委員長高木正見氏、および東海労働金庫津支店支店長井上靖之氏よりそれぞれご挨拶とメッセージを頂きました。大会は代議員総数25名のうち、17名の出席者と6名の委任状、計23名の参加で成立しました。

### 大会の流れと概要報告

大会全体が三段階に分けて進められました。

第一段階では、旧執行委員会による2007年の活動報告(第1号議案)と会計報告(第2号議案)を中心に進められました。鶴原中央執行委員長より、現状説明が主な内容とする挨拶が終えてから、豊福書記長より第1号議案について報告があり、それに対して、異議なし、拍手多数で、承認されました。引き続き第2号議案について、「特別会計報告は(案)を付けなくてもよいのですか」(藤田氏・教育学部支部より)、「今後は出来るだけ速やかに会計監査を行っていただきたい」(徳田監事より)などの質疑とコメントを頂いたうえ、拍手多数で、承認されました。

第二段階では、投票により2008年度の中央執行委員、監事及び次期選挙管理委員選出などを行いました。議長(橋場)を交代し、2008年度役員選挙(第3号議案)に入り、選挙管理委員長藤田旧書記長と石井旧副委員長より、役員選出規定に基づき、新役員の選出を行いました。「全役員が信任された」の開票結果が福田選挙管理委員長により発表されました。選出された新役員・監事・選挙管理委員は以下の通りです。

2008年度中央執行委員会構成メンバー

役職	中央執行委員長	副委員長	書記長	書記次長	執行委員	監事		選挙管理委員		
氏名	弓場 徹	寺川 史朗	草地 元	常 清秀	田村 雅史	鶴原 清志	王 秀崙	豊福 裕二	須曾野 仁志	梅田 直明
所属	(教育)	(人文)	(教育)	(生資)	(工)	(教育)	(生資)	(人文)	(教育)	(工)

第三段階では、まず、新執行委員会弓場委員長より、挨拶の言葉を頂き、それから、新役員全員の自己紹介に移りました。その後、草地書記長より、2008年度活動方針案(第4号議案)と、一般会計予算案(第5号議案)についてそれぞれ提案がありました。第4号議案について、若干の議論がありましたが、両議論のいずれも拍手で承認されました。

第4号議案の論点は、看護師の労働環境の改善と人手不足の問題に集中しました。「運営費交付金が削減

されるという厳しい財政状況中で、具体的にどのように取り組んでいくのか」（後藤・生資より）の質問に対して、鶴原元委員長と豊福元書記長がそれぞれ、昨年度の活動により把握した実態に基づき、看護師の労働環境の悪さと人手不足問題との関連性、大学当局の認識不足、医学部の組合員数が非常に少ないため、情報が得られないという組織構造上の問題点と現状を説明したうえ、今後、組合として「現場の情報把握が出发点だ」という基本姿勢を改めたうえ、問題解決には看護師の組合員の拡大も重要であると述べました。

以上をもって、2008年度に関する議案が全部承認された後、議長団を解任し、最後に、常新書記次長の閉会の挨拶で大会が無事終了しました。

## 08年度中央執行委員の信任投票結果

規約第26条に基づき、新役員の信任投票が2008年1月28日（月）～2008年2月18日（月）の期間に行われました。2月26日の選挙管理委員会の開票結果によると、総投票数169票（内2票が不信任、1票が白票）、信任投票数166票で、候補者全員が信任されました。

## 08年度の中央執行委員の挨拶

@弓場 徹・中央執行委員長（教育学部・教員）

法人化もまる4年が過ぎようとしています、非常に残念ながら大学組織の非効率的運営の結果、意味も無く増えた業務内容などにより、快適な職場環境が害われつつあることを実感しております。現状維持は社会から既得権保護という悪いイメージに受け取られかねませんが、弱者を切り捨てることのない公平で温か味のある大学経営の中での発展を望みたいものです。非力ながら改善に向けて頑張っていきたいと思っておりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

@寺川 史朗・中央執行副委員長（人文学部・教員）

「男はつらいよ」のマドンナのなかで、人気が高いのは、おそらくリリーだろう。寅さんがプロポーズしたマドンナでもある。ほかに、歌子やりん子など、毎回登場するマドンナは、みなスポットライトを浴びて華やかだ。しかし、振り返ってみると、寅さんのことをいつも心配し、思っているのは、さくらである。マドンナのような一瞬の華やかさはないが、さくらは、いつもそこにいる。弊校は、そういう人を大切にしているだろうか。・・・こんなことを考えながら、副委員長職を務めてまいります。

@草地 元・書記長（教育学部・教員）

この度、中央執行委員会書記長を仰せつかりました。来年度は法人化5年目の節目の年となりますが、補助金削減、教員個人評価の給与への反映等により教職員の勤務状況は今後ますます厳しくなっていくものと思われまます。組合員歴3年半とまだ理解不足、力不足の私ですが、この状況下で私たちが教育の場としての職場を意識しつつ働き続けられるよう私なりに精一杯努力したいと考えています。組合員皆様のお力添えを宜しくお願いします。

@常 清秀・書記次長（生物資源学部・教員）

当大学に着任してから、同僚のお勧めですぐ組合に加入しました。みんなが入っていると思っておりましたが、その加入率の低さに驚きました。法人化後、教職員の皆様にとって組合活動の大切さを意識するようになりましたが、加入率の低さが依然として改善されておらず、組合に対する認知度があまり高くないのが現状です。より良い職場環境を作るには、多くの方の知恵とご協力が必要です。これから、微力ではありますが、組合活動の重要性と大切さをアピールし、仲間が増えるように努力致します。宜しくお願い致します。

@田村 雅史・執行委員（工学部・技術職員）

今年度、執行委員をさせていただくことになりました。ご質問、ご要望等、どんなものでも結構です。お気軽に皆さんの声をお寄せ下さい。組合が皆さんの身近に感じられるように、がんばりますのでご指導、ご鞭撻よろしくお願ひします。

## 2008 年度活動方針

### I. 取り組む課題

#### 1. 教育・研究・医療などの労働条件に関する課題

##### 1)3月までの課題(結果報告)

- 人勸準拠による給与改定の4月遡及実施について／2月にすでに実施されました。
- 休憩時間の1時間への延長について／再度当局に確認したところ、平成21年度に向けて実施できるように検討中。
- 教員の超過勤務に関する手続き等の策定について／労働基準監督署による指導に基づき、裁量労働制の教員に対しても超過勤務の実態調査が行われ、未払い分の追加給付が行われました。

※昨年度の取り組みは組合ホームページ <http://homepage2.nifty.com/mic-union/> にニュースレターN0.538～541号（団体交渉の結果など）を掲載中です。

##### 2)4月以降の課題

- 教職員の個人評価の昇給・昇格への反映について  
すでに管理職において処遇への反映が始まっており、その他の職員についても試行結果に基づく評価ルールの策定が行われるものと思われます。
- 昇給・昇格や待遇改善に関する課題  
大学教員については、「准教授・助教・新助手」などの新しい身分について、引き続き職務にふさわしい待遇を要求し、附属学校教員については、公立校との格差の解消に努めます。事務・技術系職員については、俸給表の改定に伴う不利益の改善、前任技術専門員制度等の早期の確立、看護師等の病院職員については、看護師の大幅な増員と適切な労働時間管理等による労働環境の抜本的な改善を求めます。
- 高齢者の「再雇用制度」の改善  
来年度からの新規再雇用者の実績や現在の再雇用者の実状を把握した上、現在の待遇改善を要求します。
- 事務職員と非常勤職員・派遣職員の問題  
非常勤職員と派遣職員についても、学内における雇用の実状を把握し、学内からの正規職員への登用制度の確立など、その待遇改善に努めます。

#### 2. 三重大大学の将来構想に関する課題

文系学部の分割を伴う研究・教育組織の再編案が学長提案として提示され、再編案の一部については来年度の概算要求にのせる取り組みが進められています。文科省との交渉の成り行きによっては、一層の人員削減や合理化が求められる可能性もあり、組合としても引き続き再編案の動向を注視していきます。

#### 3. 全国的課題

「運営費交付金の競争経費化」や「国立大学の大胆な再編統合」などの動きに対して断固反対するとともに、「ホワイトカラー・エグゼンプション」などの労働法制の改悪や、「憲法改正」の動きなど、全国的な諸課題に対して、全大教と協力しつつ情報発信や署名活動などの取り組みを行います。

## II. 活動の重点

### 1. 各職場の実態を把握し要求をまとめる

昨年度は附属病院看護師の労働実態、要求の把握という点で一定の前進がみられました。引き続き、アンケート調査等を活用して教職員の労働実態の把握、要求把握に努めます。

### 2. 労働協約を活用し、学長交渉、担当理事交渉を積極的に行う

労働協約を活用して団体交渉を積極的に行います。また、個別案件に関する申入書の提出を積極的に行い、学長交渉のみならず、担当理事や人事チーム等との間で交渉や懇談等を行います。

### 3. 学内情勢や全国的課題の情報を組合員へ伝え、署名などの活動を行う

組合ホームページの一層の充実を図るとともに、メールマガジン等を通じた組合員への積極的な情報発信を行います。また全国的課題についての情報収集・発信と、署名活動等への取り組みを行います。

### 4. 組合員を拡大し、組合の力と財政を強化する

人文・教育については引き続き教員の過半数の維持と拡大、生物資源支部についても教員の過半数の確立を目指します。附属病院については昨年度の取り組みを踏まえて、現組合員と連絡を取りつつ組合員拡大の契機を探ります。また、事務職員についてはアンケート調査結果等をもとに要求の把握に努め、空白を克服する手がかりを探ります。

## 最近の活動報告とその動き

◆トピックス・・・3月4日新執行部は弓場委員長を初め、寺川副委員長、草地書記長、常書記次長の4名が大学人事チームに訪問し、今後の活動方針について色々意見を交わしました。

◆1月から全大教、県主催の数多くの会議に新執行委員会が積極的に対応してきました。

#### ①県国公第1回単組代表者会議及び旗開き

日時：1月18日（金） ベルセ島崎（対応者：寺川副委員長）

#### ②全大教第2回労働セミナー及び単組代表者会議

日時：1月26日（土）～27日（日） ホテルニューフジヤ（対応者：寺川副委員長）

#### ③県国公08年春闘討論集会

日時：1月28日（月） アスト津（対応者：寺川副委員長）

#### ④全大教技術職員交流会議報告

日時：2月2日（土） 東京・飯田橋レインボービル 2階 中会議室（対応者：田村執行委員）

#### ⑤県国公第1回幹事会

日時：2月28日（木） 国土交通省三重河川国道事務所（対応者：寺川副委員長）

（上記会議の重要関連部分について、今後のニュースレターで報告する予定です）



☆職場で何か困ったことがあれば、気楽にご相談下さい！

連絡先：三重大学教職員組合書記局

場 所：三重大学教育学部・附属教育実践総合センター内・1階）

Tel:059-231-4447(直通) E-mail:KYF03351@nifty.ne.jp